

部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会

会 長 加藤 章善 様

## メッセージ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第35回定期大会のご開催を心よりお祝い申し上げます。

あらゆる差別をなくし、人権を確立する闘いに対して日々ご尽力  
いただいていることに心から敬意を表します。私たち議員団として  
も、微力ながらしっかりと連携して活動してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症についても、一度は終息の流れに  
なったものの、新たな変異株の発生により状況が日々変化する中、議  
員団として市民生活の安心・安全のため、決意を新たに取組んで参り  
ます。

今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

むすびに、今大会が実り多きものとなりますとともに、今後ますます  
のご発展をお祈り申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます  
きます。

2021年12月9日

民主・市民フォーラム京都市議員団

団 長 天方 ひろゆき

部落解放・人権政策確立要求 京都市実行委員会第 35 回大会の開催ま  
ことにおめでとうございます。

日頃より加藤章善会長様を先頭に貴京都市実行委員会におかれましては、  
部落解放の主旨に留まることなく、あらゆる人権の確立のためにご尽力頂  
き心より感謝申し上げます。

皆さまのご理解ご協力を頂き新型コロナウイルスも現在は小康状態と  
なっておりますが、新たな変異株であるオミクロン株への警戒をより一層  
強めなくてはならない状況であります。ともあれ長引くコロナとの闘いで  
ありますが、これまでの教訓も生かし、私ども公明党京都市会議員団とし  
ても、人権の党として、皆さまと心を合わせ、希望と調和の社会実現のため、  
誰一人取り残さないとの思いを更に強く、共に歩んでまいりたいと存  
じております。さらに貴京都市実行委員会様の益々のご繁栄と、委員会の  
皆さまお一人お一人のご健康を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせて頂  
きます。

ありがとうございました。

令和 3 年 12 月 9 日

公明党京都市会議員団

団長 湯浅 光彦

部落解放・人権政策確立要求  
京都市実行委員会  
会長 加藤 章善 様

## メ ッ セ ー ジ

部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会第35回大会のご盛会、誠におめでとうございます。

部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会の皆様方におかれましては、部落問題の解決とあらゆる差別の撤廃に向け、日々ご奮闘されておられますことに心より敬意を表します。また日頃から、私ども自治労京都市職員労働組合へのご指導ご鞭撻を頂いておりますことに対し、心から感謝を申し上げます。

私たち公務労働者を取り巻く状況は依然として厳しく、労働組合を取り巻く環境も大きく変化しようとしています。めまぐるしく移り変わる環境に則した行政サービスが求められ、新型コロナウイルス変異株が世界中で猛威を振るっている中、エッセンシャルワーカーとして、感染拡大防止に関連して「新しい生活様式」の定着や「対応戦略」の実践がすすめられ、引き続き職場環境や働き方の対応が求められる状況となっています。日本において日々、感染者は激減しているものの、第6波も予測されている中、まだまだ安心できる状況ではないと思われれます。社会の安心・安全・信頼の基礎となる地域公共サービスの担い手としての責任を果たし、安心して生活できる社会保障制度の確立をはじめ、地方自治の充実発展、そして、自治体労働者はもとより、全労働者の生活と労働条件の一層の前進が喫緊の課題であります。

部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会の皆さんにおかれましては、今大会を契機とし、部落の完全開放、すべての差別撤廃に向けた、力強い運動を一丸となって邁進されることをご祈念申し上げ、連帯のメッセージとさせていただきます。

2021年12月9日

自治労京都市職員労働組合

中央執行委員長 森本 尚秀



## メ ッ セ ー ジ

本日ここに、「部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会第35回大会」が開催されますことを心よりお祝い申し上げます。日頃より、加藤章善会長をはじめ、皆様には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

また、この度の総選挙では、京都3区泉健太、京都5区山本わか子、京都6区山井和則への力強いご支援に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

この度、党代表に就任し、新たな体制で、国会に臨むこととなりました。新型コロナウイルスが、まだまだ予断を許さない中、国民の生活に届く分配政策のさらなる充実を政府に求めてまいります。引き続き、包括的な人権救済制度の実現にも努力してまいります。今後とも、ご指導の程宜しくお願い致します。

結びに、部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会のますますのご発展をご祈念申し上げ、メッセージとさせていただきます。

2021年12月9日

立憲民主党代表  
立憲民主党京都府連会長  
衆議院議員

泉 ケンタ 



## メ ッ セ ー ジ

本日の、部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会 第35回大会のご開催に際し、一言ご挨拶申し上げます。日頃より加藤章善会長をはじめ、皆様には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

まずは、衆議院選挙におきまして、立憲民主党ならびに候補者に力強いご支援を賜り、心から感謝申し上げます。来年の参議院選挙に向けて一つひとつ歩を進めてまいる決意です。

先日の臨時国会において、総理所信に対する代表質問に立ち、インターネット上の誹謗中傷を含むあらゆる差別の解消をめざすとともに、人権侵害を受けた方々を救済する人権機関を早急に創設すべきであると強く要請しました。包括的な人権救済制度の実現に向けて、引き続き尽力して参ります。今後もご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

本日の大会が活発なご議論の中、実りあるものとなりますこと、部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会の今後益々のご発展とご参集の皆様のご活躍をご祈念申し上げ、メッセージとさせていただきます。

2021年12月9日

参議院議員 福山哲郎



## 激励のメッセージ

部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会  
「第三十五回大会」のご盛会を心からお慶び申し上げます。

会長 加藤章善様を先頭に、皆様には人権を守り、差別をなくし、公平公正な社会の実現にご尽力頂いておりますことに心から敬意を表させていただきます。

早いもので新型コロナウイルスが猛威をふるいだし、間もなく二年になります。感染拡大を防ぐべく、皆様にもお取り組み頂いておりますが、経済活動や社会活動が制限され、不安に満ちた一年でした。しかしながら、そのような状況であるからこそ、皆様のご活動が重要であり、皆様のご支援ご指導を賜りながら、私としても国政に議席をお預かりする立場から、今こそ全力で取り組んで参ります。

結びに、ご参集の皆様のご健勝ご多幸、ならびに実行委員会の益々のご発展を心からご祈念申し上げます。

二〇二二年十二月九日

国民民主党  
衆議院議員

前原誠司



# メッセージ

本日の部落解放・人権政策確立要求  
京都市実行委員会第35回大会の  
ご開催に際し一言ご挨拶申し上げます。  
ご出席の皆様には日頃より大変お世話  
になり、厚く御礼申し上げます。  
新型コロナの影響が長引き、あらためて  
様々な差別意識が顕在化されたものと  
存じます。私も微力ながらあらゆる  
差別の撲滅に向け、引き続き努力して  
まいります。  
本日の大会が有意義なものとなります  
ようご祈念申し上げ、また、変わらぬ  
ご指導ご支援を賜りますことをお願い  
申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

2021年12月9日

立憲民主党京都府連幹事長

京都府議会議員

田中けんじ



## メッセージ

このたびの部落解放・人権政策確立要求 京都市実行委員会第 35 回大会のご開催を心よりお慶び申し上げます。日頃より加藤会長をはじめ役員・事務局の皆様には大変お世話になりありがとうございます。

先の衆議院議員選挙では、京都第 5 区より立候補させていただき、部落解放同盟の皆様方には大きなお力をいただきましたにも関わらず惜敗をいたしましたことを心からお詫び申し上げます。

解放同盟の皆様はこれまでも、そして現在のコロナ禍でも、悪質な差別事件が後を絶たない中、全ての人間は自由・平等、そして平和に生きる権利をもつという人類普遍の原理に基づきあらゆる差別の撤廃の取り組みを長年継続されてきたことに、心より敬意を表します。

国会におきましては、私たち立憲民主党は、泉新代表の下、緊張感のある政治を取り戻し、コロナ禍の国難の中、国民皆様の「命と暮らし」を守り抜くため、私も立憲民主党京都府第5区総支部長として、真の意味での「国民生活の安全安心」「透明公正で信頼される政府の実現」などを目指して、一所懸命頑張って参りますのでどうか今後ともご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、本日の大会が実り多きものとなりますよう、そして、本日お集りの皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

2021 年 12 月 9 日  
立憲民主党京都府第5区総支部長  
山本 わか子



## メッセージ

部落解放・人権政策確立要求

京都市実行委員会

会長 加藤 章善 様

第35回大会のご盛会をお慶び申し上げますとともに、部落解放と人権政策確立に向けた活動の取り組みに敬意を表します。

現在、コロナ禍第六波が危惧されています。この約2年間のコロナ禍で小規模・零細企業の倒産や立場の弱い非正規労働者の解雇が多く出されました。この新型コロナウイルスは多くの社会的矛盾を露呈し、社会的基盤の弱い人々にはより過酷な現実となっています。さらに、新型コロナウイルス感染症及びワクチンの接種に関連した誤解や偏見に基づく不当な差別も発生しています。

10月に安倍・菅政権を引き継いだ岸田首相は「新しい資本主義」をめざすとして10月31日投開票の総選挙を行いました。社民党は「生存のための政権交代」をスローガンに戦いを進めてきました。結果として、自民党の議席を減らすことはできましたが、与党は絶対安定多数となり、自公政権への批判票の一部が改憲・新自由主義勢力の日本維新の会に流れ、自公維新の改憲勢力が衆議院の3分の2を占めるに至りました。今後ますます、軍事力強化や平和や憲法を破壊する動きが強まっていくことが予想されます。

2022年3月3日、全国水平社設立100周年です。しかし、鳥取ループ・示現社にみられるように部落に対しての悪質な差別状況も後を絶ちません。

社民党は、憲法9条「平和主義」、憲法11条「基本的人権の尊重」、憲法13条「個人の尊厳」、第14条「平等権」、憲法25条「生存権」等々、憲法が保障する国民の諸権利を活かし、いのちと暮らしを守り、格差の解消、生活再建のための税金の使い方、税制改革など様々な国政の課題に奮闘します。

とりわけ、「京都市実行委員会」に結集する仲間とともに、人権侵害救済に関する法制定をふくめ、あらゆる差別をなくし、平和と民主主義を守るため、共に闘う決意を表明し、メッセージとします。

2021年12月9日

社会民主党京都府連合

代表 中村 在男

